

放射線被ばくについて

中央放射線部 村田 崇

放射線被ばくって？みなさんは放射線被ばくと聞くとどういった状況を想像しますか？

多くの人は、原発事故での被ばくや原爆での被ばくを思い浮かべるのではないのでしょうか。

放射線被ばくとは、“人体に放射線を浴びること”なので、X線撮影などの医療行為でX線を浴びることも放射線被ばくになります。

放射線被ばくは、医療被ばく・職業被ばく・公衆被ばくの3つに分けられます。

医療被ばくとは、医療行為で患者が受ける被ばくです。また、介助や補助などで患者の家族などが受けた被ばくも医療被ばくになります。医療被ばくには、これ以上に放射線を浴びてはいけないという上限がありません。ただし、医師は放射線被ばくのリスクより、検査や治療で得られる利益のほうが大きいことを前提に指示を出しますし、我々技師も、必要最低限の被ばくで済むように業務にあたらなければいけません。



職業被ばくとは、放射線業務従事者が業務の過程で受ける被ばくのことをいいます。

また、放射線業務従事者でなくとも、放射線管理区域内で業務上受けた放射線被ばくも含まれます。職業被ばくは、医療法や放射線障害防止法等によって被ばくの限度が定められています。

公衆被ばくとは、医療被ばく・職業被ばく以外の被ばくのことを指します。この中には、自然被ばくというものも含まれます。これは、自然界にある鉱物からの放射線や宇宙から常に降りそそぐ微量の宇宙線での被ばくなどを指します。飛行機に乗っている時は、地上にいる時よりも多くの宇宙線を浴びています。また、天然のラドン温泉がある地域では地殻からの自然放射線が多い場所になります。こういう自然放射線が多い地域の住民のほうが、一般的な地域の住民より平均寿命が長いというデータを出している研究者もいます。

これを見て興味のわいた方は、ネットで検索してみてくださいはいかがでしょうか。